

11月は「全国青少年健全育成強調月間」です

— 育てよう心豊かに たくましく —



環境の浄化は地域に住む大人の責務

子どもの成長は、住んでいる環境

未来を担う青少年が、社会における自らの役割と責任を自覚し、豊かな社会性と優れた創造性を培い、心豊かにたくましく成長していくことは、町民すべての切なる願いです。富士見町においては、育てるべき子ども像として

- 夢や希望をもち、明るくたくましく歩みつづける子ども
- 人のために心から尽くす事の出来る子ども
- 悪い事や苦しい事に負けない強い心をもった子ども

この三つに重点をおき、学校関係・警察・地域・関係団体等一体となつて青少年の健全育成に努めています。

によって大きく左右されます。年々、露骨な性描写の雑誌・ポルノコミック誌・アダルトビデオ・大人のおもちゃ等が増加して

います。また、有害自動販売機は、昼夜を問わず青少年が手軽に利用できます。

これらは、青少年の不良行為を誘発、助長する恐れがあります。

富士見町では、7月と11月に環境チェック活動を行い、書籍販売店やコンビニエンスストア等にこれらの販売自粛をお願いし、有害自動販売機についても土地の貸与をしないよう土地提供者に強く要請しています。

「自動販売機の新設や増設に反対しよう」

業者は自動販売機の新設や増設を各地で進めています。富士見町では有害ビデオ・図書等の自動販売機の設置には絶対に応じないようにしましょう。

有害環境3ない運動を進めよう

有害な環境は手をこまねいていては、益々ひどくなるばかりです。環境浄化に地域ぐるみで取り組んでいくことが大切です。

有害図書3ない運動

「読まない」「見せない」「買わない」

有害自動販売機3ない運動

「設置させない」「利用しない」「放置しない」

テレクラ3ない運動

「利用しない」「利用させない」「許さない」

お問い合わせ

富士見町教育委員会
富士見町青少年健全育成町民会議
☎ 62・2400

秋の火災予防運動



により十分防げます。家庭や地域から火災を出さないよう注意しましょう。

特に住宅火災の主な出火原因に、コンロ・たばこ・石油ストーブ・焚き火によるものが上位を占めています。次の事に注意しましょう。

○コンロによる火災

おもな原因はてんぷら油等によるものです。揚げ物をする時には、絶対にその場を離れない。ガスコンロから離れるときには必ず火を消しましょう。

○たばこによる火災

投げ捨て・寝たばこは絶対しない。

○石油ストーブによる火災

ストーブの上で洗濯ものなど干さない。ストーブの回りに燃えやすいものなど置かない。給油は完全に火が消えた事を確認してから行う。

○焚き火による火災

風の強い日は行わない。消火用具を用意する。終わったら必ず火の消えた事を確認する。

この運動が11月9日から15日まで全国一斉に行われます。富士見町では、11月9日の日曜日、町消防団・消防団ラッパ隊・鼓笛隊・スポーツ少年団・バントワラス・ボーイズ少年団による、火災予防パレード並びにラッパ吹奏行進及び一日消防署長による啓発広報を行います。これからの季節寒さが厳しくなりストーブやコタツなどの暖房器具を使用する機会が多くなります。また、空気が乾燥して火災の発生しやすい時期となります。火災は、一人一人が注意すること